

新刊紹介



ネウボラから学ぶ児童虐待防止メソッド

編集 横山美江
発行 医学書院
定価 3300円(本体3000円+税10%)

フィンランドの妊産婦ネウボラの担当保健師は、産前から産後まで、継続的に妊産婦と家族の健康を管理・支援する。さらに、子どもネウボラも継続して同じ担当保健師が関わられるよう統合が進められ、虐待防止に役立っている。本書はその実際を解説。日本でも取り入れるべき点や自治体の実践例に手がかりがある。



マンガ 精神疾患をもつ人への関わり方に迷ったら開く本

教えて看護理論家の先輩たち！ 私の役割って何？

原作 中村創
漫画 水谷緑
発行 医学書院
定価 1980円(本体1800円+税10%)

主人公は精神科の新人看護師。患者との関わり方や看護の方向性に悩むと、先輩に相談する。先輩はその都度、自分の経験と看護理論家の言葉を引用しながら、その場で何が起きているのかを解説し、ヒントを提示してくれる。重要な看護理論のエッセンスを漫画で学びながら、精神科の看護を理解できる好書。



看護師の倫理調整力 第2版

専門看護師の実践に学ぶ

編 鶴若麻理、長瀬雅子
発行 日本看護協会出版会
定価 2420円(本体2200円+税10%)

複雑・多様化する臨床現場に溢れる倫理的課題に、医療者はどう対応するか。専門看護師(CNS)が行った20の「倫理調整」の実践事例をもとに考察する。本版では、遺伝看護、災害看護、COVID-19対応を含む8事例が加わり、臨床での「違和感」と倫理的課題の関連性、医療者がそれらと向き合うためのアプローチが見えてくる。



大学教員の能力開発研究

ファカルティ・ディベロップメントの構造と評価

著 佐藤浩章
発行 玉川大学出版部
定価 4950円(本体4500円+税10%)

コロナ禍は、期せずして最大規模のFD (Faculty Development) を世界中で起こし、ポスト・コロナ時代の大学教員とFDの変容を進めた。これからの時代と社会にふさわしいFD概念とはどのようなものか。大学教員の能力開発の構造と評価の実態を明らかにし、望ましいあり方を提起する研究書。

